

日本整形外科学会 教育研修単位

※受講にあたっては、必ず IC 会員カードをご持参ください。

1. 単位受付にて受講料（1 講演につき 1,000 円）を添えてお申し込みください。
お申込み控えをお渡ししますので、受講する講演の会場までお持ちください。
2. 専門医（資格継続用）、非専門医（専門医申請用）ともに、会期中に取得できる単位は、1 日最大 4 単位、会期中最大 6 単位です。
3. 必ず受講のお申込み控えをお持ちいただき、講演開始 10 分前から、講演開始後 10 分までに IC 会員カードを講演会場入口のカード読み取り機にかざして出席登録を行ってください。この時間内に受講手続きが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得ができませんのでご注意ください。
4. お申込みいただいた講演の開始後のご返金、ご変更の対応はいたしかねます。

(研修医)

研修医の方が IC 会員カードで単位を取得される場合は、上記 1～3 の手順に加えて、「研修手帳」の押印欄に、ご本人で「ホームページ参照」と記載をお願いします。研修会認定番号および演題名もご本人で記載していただきます。

日本整形外科学会 認定講演一覧

6 月 3 0 日 (日)

該当セッション				日本整形外科学会		
セッション名	時間	演題	演者名	取得単位	必須分野	認定番号
ランチョン セミナー 1	12:10～13:10 第 2 会場	骨代謝におけるスクレロスタチン発現制御機構	小林 泰浩		4	24-0384-001
		基礎研究者も知っておきたい最新の骨粗鬆症治療の動向 –骨形成促進剤の果たすべき役割–	蛭名 耕介			
ランチョン セミナー 3	12:10～13:10 第 4 会場	次世代抗体～ナノボディ®分子 (VHH) の特性と医療応用への期待	伊東 祐二		6	24-0384-002
		関節リウマチと骨粗鬆症	田中 郁子			
アフタヌーン セミナー 1	17:10～18:10 第 2 会場	骨粗鬆症の病態と治療	岩本 潤		1, 4	24-0384-003
アフタヌーン セミナー 2	17:10～18:10 第 3 会場	骨粗鬆症について知っておくべきこと –病態・鑑別診断と重症化を防ぐための対策–	宮腰 尚久		4, 7	24-0384-004
アフタヌーン セミナー 3	17:10～18:10 第 4 会場	軟骨無形成症治療のブレイクスルー～CNP アナログ製剤の臨床効果～	原田 大輔		3	24-0384-005

7 月 1 日 (月)

該当セッション				日本整形外科学会		
セッション名	時間	演題	演者名	取得単位	必須分野	認定番号
ランチョン セミナー 6	12:05～13:05 第 4 会場	基礎研究者が知っておきたい関節リウマチの骨関節破壊機序と最新治療	蛭名 耕介		6	24-0384-006
アフタヌーン セミナー 4	17:15～18:15 第 2 会場	骨粗鬆症治療 update	田中 栄		4	24-0384-007

アフタヌーン セミナー 5	17:15～18:15 第3会場	Cellular mechanisms of bone remodeling	Erik Fink Eriksen		4	24-0384-008
------------------	---------------------	--	----------------------	--	---	-------------

7月2日(火)

該当セッション				日本整形外科学会		
セッション名	時間	演題	演者名	取得単位	必須分野	認定番号
ランチョン セミナー 7	11:50～12:50 第2会場	PPP/PAO 診療の実際～掌蹠膿疱症性 骨関節炎診療の手引き 2022 より～	田村 誠朗		7, 10	24-0384-010
ランチョン セミナー 8	11:50～12:50 第3会場	関節リウマチにおける層別化医療の現 状と未来	藤尾 圭志		6	24-0384-011
ランチョン セミナー 9	11:50～12:50 第4会場	酵素補充療法によるムコ多糖症の骨形 態異常の治療：マウスモデルを用いた 検討	藺田 啓之		3	24-0384-009
		ゴーシェ病の骨病変 –その病像と治 療–	井田 博幸			

認定単位：1 演題 1 単位 (003, 004, 005, 006, 007, 008, 010, 011)、2 演題 1 単位 (001, 002, 009)

取得単位：専門医資格継続単位=N

必須分野：[1] 整形外科基礎科学、[2] 外傷性疾患 (スポーツ障害を含む)、[3] 小児整形外科疾患 (先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)、[4] 代謝性骨疾患 (骨粗鬆症を含む)、[5] 骨・軟部腫瘍、[6] リウマチ性疾患, 感染症、[7] 脊椎・脊髄疾患、[8] 神経・筋疾患 (末梢神経麻痺を含む)、[9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患、[10] 手関節・手疾患 (外傷を含む)、[11] 骨盤・股関節疾患、[12] 膝・足関節・足疾患、[13] リハビリテーション (理学療法, 義肢装具を含む)、[14-1] 医療安全、[14-2] 感染対策、[14-3] 医療倫理、[14-4] その他の共通講習：医療制度と法律, 地域医療, 医療福祉制度, 医療経済 (保健医療), 臨床研究・臨床試験, 災害医療, 両立支援、[14-5] 1～13 ならびに 14-1～14-4 に当てはまらないもの